

# 『ちょっぴりエコライフ ～I♡(ラブ)リメイク宣言!～』

みなさん、ご存知でしたか？  
東大阪市、八尾市で一日に出されるゴミの量は、約1,028,631kg(出典「大阪府の一般廃棄物(平成17年7月)」)にもなるんだそうです。これを45ℓゴミ袋に換算すると、なんと約23,000袋分にもなります。もちろん、そのうちの一部はあなた自身が出したゴミ。「分かってはいるんだけど…」つい面倒になりませんか？いけないと思いつつ、何でもかんでも捨てちゃっていませんか？



## vol.1



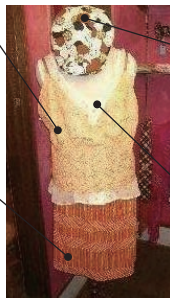
例えば引っ越しをして、高さが合わなくなった食器棚。壊れてしまったわけではないのに、今のままでは使えない。新しいキッチンにも何となく似合わない…。  
でも待った！そんな家具たちを「改造」してくれる木工所が八尾市にあるんです。  
「あちこち虫に喰われて、でもどうしても直してほしいって言われてね」  
そう言いながら、木工所で出会った職人さんが見せて下さったのは、現在改造中の大きくて古い棚。実はこれは、持ち主のおばあさんが、今は入院してしまっているおじいさんに昔買ってもらったもの。おばあさんは、この家具を直せばきつとおじいさんも元気になって帰ってきてくれるはず、という願掛けのような思いを抱いているそうです。  
「おじいさんが帰ってきた時、棚がきれいになっていたらきつと喜ぶだろうって言われると…僕もそういう思い入れを大切にしたいし、長く使ってもらうことが何より嬉しいから、ひとつ、修理してみようかとね」  
ちなみにこの木工所では、こうした修理や改造の過程でどうしても出てしまう木屑や廃材をとっておいて、冬になるとストーブの薪に利用しているんだとか。何だかとても暖かそう。ものに込められた色んな人の気持ち、最後の最後まで大切にされているんですね。

### ちょっぴりエコライフ～初級編～

古着や余り布がオシャレに変身！  
おおきな事じゃなくても、身近なところからエコライフ！  
これなら、私も明日からさっそく始められよう！



久宝寺緑地で不定期に行われるリサイクルフェア。出店を覗いたり掘り出し物を探したりと、人とのふれあいでエコライフが楽しめる。



before : プラウス

before : カハンの余り布

before : ワンピース

before : 古着のスカート

この素材でなきゃ、この家具でなきゃ。ものを大事にするということは、その思い出も大切にすること。例えば、あなたが必要としなくなったものをリサイクルショップに持つていくこと。これだけでもOK！身近にある、小さなことからエコは始まるんです。ゴミになるはずだったものが、誰かにとってはかけがえのない宝物になるかもしれない。そう考えるとわくわくしませんか？  
ちなみに私は手始めに、壊れたままになっていた愛用のめがねを修理に出すことにしました！これくらいなら自分でも出来るかなって。いつの間にか忘れていた「物を大切にすること」。もう一度思い出して、あなたもレッツちょっぴりエコライフ！

## わたしたちが取材しました。

楽しくエコライフに取り組もう！  
そう思っただけなら光栄です。

- 地田希望
- 藤田和美
- 半田 茜
- 川本 瞳



- 今回の取材場所
- 丸一木工所 TEL:072-949-4185
  - Aquet TEL:072-922-2326
  - 日本ガレージセール協会 TEL:06-6362-6322

ありがとうございました。